

吹田民主商工会

いんぷお めくしよん

消費税に負けへん!

暴走政治ストップで全民商が増勢を

大商連 第68回定期総会 開催

4月20日、大商連第68回定期総会がエル大阪で開催されました。吹田民商からは各専門部から選出した代議員10名と評議員2名、12名が参加しました。

大商連会長から「闘って情勢を打開していく必要がある」と力強い挨拶がありました。来賓から大阪市長選挙は6億円もの無駄使いだった。結果として選出されたが白票に4万6千票が集まった事、低投票率、得票で橋下市長は信任を得ていないと強調していました。

午前中の表彰で吹田民商は消費税署名、商工新聞読者拡大、健全な財政運営等4つの分野で表彰されました。この総会で引き続き竹田副会長が大商連常任理事、新たに工藤副会長が大商連理事として選出されました。

総会に参加された役員さんの感想を紹介します(順不同)

副会長 工藤 芳昭

今年も大商連総会に参加しました。読者拡大・署名・集金率などの部で4つの表彰を受けました。午前中は総会方針案の説明報告を受けた後、午後から拡大運動の分散会に参加しました。経営と暮らしを脅かす重税と徴税行政を正し、納税者の権利を守る運動をもっとと前進させるため、組織を大きくすることが大事だと思いました。新しいお店、お知り合いの方の一報を吹田民商本部まで知らせてください。

山田支部役員 後藤 孝雄

全体会での大商連会長・三谷氏の発言の中に「座して死を待つか、立ち向かうのか」という言葉がありました。民商の場合は、「自分さえよければいい、力さえあればいい」ということではなく、仲間と力を合わせ、知恵を出しあって商売を続け、政治の矛盾に対して、しっかりとものを申していこう!というふうに聞こえました。分科会は経営対策で、大青協による「わっと交流会」での人材集めの呼びかけ、個人経営の自転車屋さん、国内A級ライダーによるデモストレーションで集客をしている話。スタンプリーによる民商の地域活性化力の素晴らしさなどが交流されました。後半では、地域に助けられて事業を続けていられることに対して、その恩返しを経営を通じて行っているか、自社の仕事の発信をお客様にわかりやすく伝えられているかなど、始まりから終わりまで、話は尽きませんでした。

お買い物は地元の市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともに!

吹田市川園町20-1
TEL(06)6383-2211
FAX(06)6382-8190
http://www.suita-minsyou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

副会長 桑島 靖雄

私は決算・予算委員会に参加しましたが約半数が事務局長でした。営業時間の延長などで組織集金が崩れ、事務局の負担になっている実態が浮き彫りになりました。吹田民商では、会計処理規定を支部でも定めている事を紹介、参考になるとの声がありました。また大商連会館と大商連との関係も吹田と同じで分かりやすく感じました。

副会長 村上 一郎

会場に着くと顔なじみの役員と逢い民商活動を労いながら、しばしの雑談は懐かしく思った。私が印象に残ったのは閉会の時、三谷会長が退任挨拶する中で中西一雄さん(故人)のお話がありました。中西さんは初代の消費税廃止闘争本部長をされた方だったと思います。2度程東京の集会にも御一緒させて頂きました。懐かしく思い出しました。

片山支部役員 坪井 泉

初めての参加でした。他民商の方たちとお会いするのも初めてでしたので、ちゃんと話せるか不安でしたが、国保の減免のことや、生活保護のこと、共済の話で時間があつという間に過ぎたように思いました。皆、「仲間」だなぁと強く感じる事が出来ました。

吹南支部役員 塚本 哲

経営分散会において、各参加者の方々の経営に対する哲学の持ち方について、あらためて参考にさせて頂きました。消費税の増税に対しても負けることなく、前向きに商売を向上させるためのことを考えて事業をされている姿勢に刺激を受けました。



表彰を受ける
工藤副会長

